

平成 23 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 23 年 4 月 1 日

至：平成 24 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

# 平成23年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	13,481	13,753	272	(注1)
うち補正予算による追加	9	9	-	
施設整備費補助金	218	141	△ 76	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	770	580	△ 190	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	80	80	-	
自己収入	20,106	20,784	677	
授業料、入学料及び検定料収入	5,359	5,344	△ 15	(注4)
附属病院収入	14,593	14,963	369	(注5)
雑収入	153	476	323	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,773	1,911	137	(注7)
引当金取崩	-	7	7	(注8)
長期借入金収入	2,350	1,021	△ 1,329	(注9)
目的積立金取崩	-	59	59	(注10)
計	38,781	38,339	△ 442	
支 出				
業務費	32,296	32,231	△ 65	
教育研究経費	18,165	17,695	△ 470	(注11)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
診療経費	14,130	14,536	405	(注12)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
施設整備費	2,649	1,243	△ 1,406	(注13)
うち施設災害復旧事業	-	-	-	
補助金等	770	580	△ 190	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,773	1,792	19	(注15)
長期借入金償還金	1,292	1,252	△ 39	(注16)
計	38,781	37,099	△ 1,682	
収 入 ー 支 出	-	1,239	1,239	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合があります。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として退職手当の繰越分が当初見込額より増となったことにより、予算額に比して決算額が272百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、当初事業の計画変更による繰越で76百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、当初見込額より190百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、見込み額を過大に見積もっていたことから、予算額に比して決算額が15百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、検査件数の増加及び化学療法の外来移行に伴う外来診療単価増、延外来患者数の増などにより、369百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として財産貸付料及び研究関連収入の増により、予算額に比して決算額が323百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、産学連携等収入22百万円の増、寄附金収入115百万円の増により、予算額に比して決算額が137百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩額については、予算段階で予定していなかった退職給付引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が7百万円多額となっております。
- (注9) 事業計画の変更による繰越により、借入予定額に比して1,329百万円少額となっております。
- (注10) 積立金取崩については、第二期中期目標期間への繰越承認を受け、目的に沿って損害賠償に充てたことにより、予算額に比して決算額が59百万円多額となっております。
- (注11) 業務達成基準適用による繰越額300百万円及び退職手当分が当初見込み額に比して減となったことにより、予算額に比して決算額が470百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、診療報酬請求額増に伴う医療経費の増及び光熱水費の増などにより、予算額に比して決算額が405百万円多額となっております。
- (注13) 施設整備費については、事業計画の変更による繰越により、予算額に比して決算額が1,406百万円少額となっております。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が190百万円少額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、予算策定後の金利の見直しにより、予算額に比して決算額が39百万円少額となっております。

## ○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示しています。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息280百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示されております。